

中央市民サービスセンター センタース だより

平成29年
1月

創刊号
No.01

[発行]
中央地域づくり協議会

新たな歴史のスタート

秋田市役所新庁舎完成記念式典が平成28年4月17日に新庁舎1階「市民の座」で行われました。式典後に庁舎完成を祝い、高さ約30メートルの吹き抜けを利用して秋田市竿燈会による竿燈演技が披露されました。5月6日のオープンセレモニーでは穂積市長はじめ、当協議会の渡邊会長などによるテープカットで、穂積市長が、大いなる秋田の発展を願い、新庁舎の業務開始を宣言致しました。

同日午後からは3階多目的ホールにおいて中央市民サービスセンター（愛称 センタース）の開所式が行われ、多くの方々から地域の活動拠点誕生を祝っていただきました。

センタースがある市役所新庁舎は、鉄筋コンクリート造り地上6階、地下1階建てで、延べ床面積は3万946平方メートル。免震装置を備え、震度7の地震にも耐えられる設計で、災害時の避難場所としての防災拠点にもなります。



4月17日完成式典



あいさつ

中央地域づくり協議会
会長 渡邊 正歓

センタースのオープン以来、多くの皆さまからご利用いただきまして誠にありがとうございます。

センタースの施設管理運営を担う中央地域づくり協議会は、秋田市中央地域の中通、築山、保戸野、旭北、旭南、川尻、茨島、泉、八橋、寺内小地区の地縁団体の連合組織などが中心になって発足しましたが、センタースを、この地域以外のたくさんの方々からもご利用していただきたいと思います。

昨年の10月8日と9日には、第1回センタースマつりを開催しました。

作品展示参加者が誠心誠意制作した作品を出展してくれており、素晴らしい展示物ばかりでした。まつり期間中にはたくさんの方々が登場され、堪能されたことと思います。

また、食堂や喫茶コーナーではメニューが完売するほどの盛況でした。お茶会の裏千家、表千家と2日間にそれぞれ私も行き、お茶をごちそうになりました。なかなか我々素人には奥が深く、違いがわかりませんでしたが、とても楽しいひとときを過ごさせていただきました。

センタースマつりは初めての試みなので、反省点も数多く有り、今後の課題として取り組んでいきたいと思っております。センタースは新庁舎内ということもあり、大変人気があり、ご好評を得ております。

これからも、まだまだ発展していくセンタースをよろしく願い申し上げます。



発刊によせて

中央市民サービスセンター
所長 畠山 隆

新年、おめでとうございます。

このたび、中央市民サービスセンターと地域の皆様をつなぐ「センタースだより」第1号が発刊されましたことを心からお祝い申し上げます。

中央市民サービスセンター「センタース」は、これまでサンプル秋田が担ってきた生涯学習機能を引き継ぎながら、地域活動支援や子育て支援機能などを加え、昨年5月、市役所新庁舎内にオープンしました。

市民サービスセンターは、地域の仲間が集い、地域の絆を深め、元気な地域社会を育む場です。地域の住民や団体、センターに集う人々の新たなネットワークである中央地域づくり協議会が指定管理者となり、皆様自身の手で運営していただいております。紙面をお借りして、協議会の皆様の日頃からのご尽力に心から敬意を表します。

また、市民サービスセンターは、地域の皆様とともに地域の特色を活かした住民主体のまちづくりを進めていく協働の場でもあります。中央地域が、「歴史・伝統と現代がふれあう 粋なまち」として、都市機能や居住環境の充実した誰もが暮らしやすい生活利便性の高いまちであり続けるためには、人と人との絆に根ざした豊かな地域社会が礎となります。地域の皆様が、町内会活動やサークル活動を通じて地域社会に参加し、まちづくりに関わってくださることを切に希望します。

ともに協力し合いながら中央地域のまちづくりに取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

秋田市役所新庁舎の2階、3階に設置されたセンタースは、文化会館の「サンパル秋田」の生涯学習機能のほか、地域活動支援や子育て支援などの機能を備えており、中央地域における住民自治の拠点として秋田市内では7番目のサービスセンター（SC）として平成28年5月6日にオープンしました。

センタースは、文化活動やスポーツなどに利用できる多目的ホールや和・洋室、防音の音楽室、陶芸工作室、調理室、茶室などの貸出施設のほか、子育て交流ひろばなどがあります。これからも、皆さまの幅広い地域活動の場としてご利用ください。

完成記念式典

開所式



完成記念式典



完成記念式典



完成記念式典・竿燈演技



開所式・渡邊会長挨拶



開所式・市長挨拶



開所式・山王中学校/バトン部演技



開所式・秋田ばやし演奏



開所祝賀会

中央地域づくり協議会とは

中央地域づくり協議会は、秋田市中央地域における住民自治の担い手となり、住民相互の交流を図りつつ、地域の諸課題の解決に取り組み、住みよい地域づくりを推進することを目的として平成27年8月28日に設立された市民活動団体です。

中央地域の住民、団体はもとより、そこに集う人々が平等に広く参加して新たなネットワークづくりと交流を深め、秋田市の発展に結びつく様に中央地域のまちづくりをともに考え、ともに取り組んでいく協議会として中央市民サービスセンター（センタース）の貸出施設の管理運営を行っております。



センタースの意味は……

秋田市の中心を意味する「センター」と、私たちを意味する「us（アス）」を組み合わせたもので、市民一人ひとりが気軽に利用でき、明るく、温もりのある場所になってほしいという願いが込められております。

（作成：菅 ぎらりさん 当時秋田市立泉中学校3年）



第1回センタースまつり

10月8日(土)・9日(日)



オープニングイベント



陶芸作品コーナー



作品を市長に説明する平川実行委員長



作品展示コーナー



作品展示



お茶会



喫茶コーナー



ダンスパーティー



ステージ発表



ステージ発表



ステージ発表



フィナーレ



中央地域づくり協議会
事務局長
藤田 和己

平成28年10月8日(土)、9日(日)の2日間、第1回センタースまつりが開催されました。これまでの「サンパルまつり」を一新し、名称もセンタースまつりとして新たなスタートを切りました。センタースで活動されているサークル団体会員による彫刻、切り絵、写真、和・洋裁、陶芸、盆栽などの作品展示や、喫茶コーナー、お茶会、生涯学習相談会なども行われ、多目的ホールでは21のサークル団体の芸能ステージ発表と、秋田出身のジャズシンガー・ジョエルさんを交えてのダンスパーティーが盛大に行われたほか、1階市民ホールでは、「たかせ・みゆーじつくらぼ」さんによるゴスペル、「英心& Meditationalies」さんのレゲエの演奏や、「三代目吉本住みます芸人 桂三河」さんの落語などでセンタースまつりに花を添えていただき、2日間で延べ1900人余りの市民の方からご来場いただきました。まったく初めての経験で、何もかも不安の中、様々な課題を残しながらも無事にセンタースまつりが成功できたことを関係者のみなさんに深く感謝致し、今年は、より一層充実させ、ご満足いただけるものになりたいと思っております。

地域だより 旭南地区町内会連合会

- 1月9日(月・成人の日)、旭南地区35町内会の旭南地区町内会連合会の新年祝賀会が旭南コミュニティーセンターで開催されました。
- 祝宴では昨年、秋田市初のユネスコ無形文化登録された「土崎神明社祭の曳山行事」で奏でる港ばやし保存若波会による港ばやし演奏や、秋田音頭の踊りのほか、カラオケ大会で盛り上がり、地域の発展を誓い合いました。



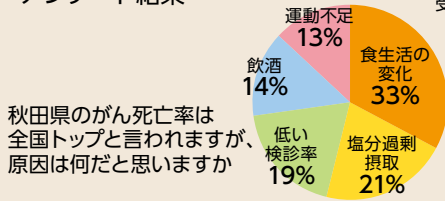
～市民公開フォーラム開催～

平成28年12月4日（日）多目的ホールにおいて当協議会の初の自主事業として市民公開フォーラムの講演会を開催しました。フォーラムでは大仙市出身の工藤進英先生（昭和大学横浜市北部病院 消化器センター長）から「これからの秋田の医療 ～大腸がんでは死なせない～」と題して講演いただきました。

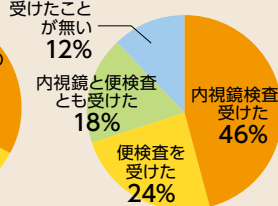
工藤先生は「大腸がんはポリープから発生する」という定義を覆し、日本で数例しか発見されておらず、特殊な事例の陥凹型大腸がんを臨床で次々と見だし、またその治療法として内視鏡による粘膜切除術の手技と有用性を報告し、大腸がんの初期病変として陥凹型早期大腸がんの発見が重要であることを国内外の医学界に発表した大腸がんの世界的な権威であり、約300名の市民の方が熱心に聴き入っていました。



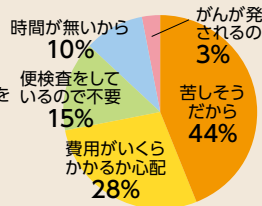
講演会当日に来場された方々からのアンケート結果



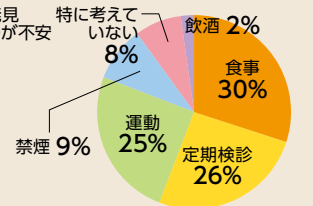
大腸がん検診を受けたことがありますか



大腸内視鏡検査を受けない理由は何ですか



自分でがんにならないように心がけていることは何ですか



施設の概要

多目的ホールは437平方メートルでステージもあり、バドミントン・卓球・ミニテニスなどのコートを確認しているほか、講演会やダンス、音楽・芸能発表会など幅広い活用ができます。

また、旧庁舎の敷地にあったけやきの木を柱として活用した本格的な茶室と、3部屋で合計51畳の通し間として使える和室や、陶芸窯のある陶芸工作室、IH調理台5台を備えた調理室、防音仕様の音楽室が4室あり、音楽室では歌や楽器演奏、ダンスなどを楽しみ、さらに会議や研修などとして利用できる大小6つの洋室もあります。

センター施設利用状況（平成28年5月～平成28年12月）

利用者総数
58,248人

内 訳	
多目的ホール	13,331人
和室（4室）	6,917人
洋室（6室）	21,742人
音楽室（4室）	13,725人
調理室	1,593人
陶芸工作室（2室）	940人

ご利用案内

文化活動やスポーツ施設、住民自治活動など、幅広くご利用できます。

ご利用の希望する日の前月1日から予約をお受けいたします。

■開館時間

9：00～21：00（年末・年始を除く）

■ご利用申し込みは

中央地域づくり協議会 TEL018-888-5644

窓口での申し込み、または秋田市公共施設案内・予約システムからも申し込みできます。（予約システムからの申し込みは窓口での登録が必要です。）



施設利用窓口

◎ご利用料金

- ・部屋の利用料は、営利目的でない場合は無料です。
- ・営利目的の場合は、次のとおり有料になります。

		(1時間あたり)
多目的ホール		2,050円
和室	1室	200円
洋室（※洋室4を除く）	1室	200円
洋室4		1,230円
音楽室		410円
調理室		410円
陶芸工作室		410円

- ・次の設備を利用する際は、営利非営利問わず設備使用料が必要となります。

		(1時間あたり)
多目的ホール	照明器具	50円
調理室	調理器具	150円
陶芸工作室	陶芸窯	250円

中央地域づくり協議会

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号（市役所3階）
TEL 888-5644 FAX 888-5645
ホームページ <http://centers.ec-net.jp/>

